



◇秋の深まりを感じる時期となりました

10月も中旬を過ぎ、秋の深まりを感じる時期となりました。衣替えはまだ移行期間中で、上着なしで登校している生徒もおりますが、気温が下がり、多くの生徒は上着を着て登校するようになりました。そして日没が早まったことに対応し、今週から部活動の終了時刻が16時45分、完全下校が17時となりました。

ところで春夏秋冬の中で「深まる」と表現するのは秋だけです。これは、秋が他の季節より変化が大きく、時間の経過、つまり奥行き(深さ)を感じられる季節だからと考えられます。秋の深まりと共に生徒の学びもより一層深まるよう、年末、年度末に向けて取り組む考えです。

◇教育活動は通常に戻りつつあります

新型コロナウイルス感染症に関する県(市)の警戒レベル引き下げに伴い、これまで実施を控えていた活動や校外での活動が再開されました。

第2学年私立高等学校見学会

安定地区の私立高等学校の皆様にご協力をいただき、10月19日(火)に第2学年私立高等学校見学会が実施されました。

この見学会の目的は、生徒が高等学校を訪問し、学校施設を見学したり、校風や特徴について説明を受けたりすることを通して、自分自身の進路に対する意識を高めることにあります。中学校卒業後の進路選択については、自分の将来の希望や特性を見据え、早くから計画的に検討を重ねていくことが大切です。そのため、中学2年生の段階で実際に高等学校を見学し、高等学校の学校生活等について理解することは大変意義があることと考えております。

当日、学校に戻った2年生に感想を聞いたところ、第一声は「難しい！」でした。充実した教育施設と専門性が高く選択の幅が大きい学習内容に少々不安を感じたようです。しかし、この経験を励みに、しっかり自分の進路について考えてほしいと思います。



ご協力いただいた私立高等学校の皆様には大変お世話になりました。

むつみ学級スイートポテトづくり

今週、むつみ学級でスイートポテトづくりの実習を行いました。メインの食材のサツマイモは先週末に本校の農園(理科室前)で収穫したものです。

コロナ禍でこれまで調理実習は控えておりましたが、警戒度レベルがステージ 2 となったことから実施できるようになりました。



久しぶりの実習でしたが、おいしいスイートポテトがたくさんできました。

◇インフルエンザへの備え

新型コロナウイルスの新規感染者は大きく減少してきましたが、これから冬季にかけてはインフルエンザの流行が心配されます。去年は新型コロナウイルス感染症対策として、うがいや手洗い、マスク着用などが徹底され、インフルエンザの流行はほぼありませんでしたが、その反動から今季はインフルエンザが流行するのではとの予想もあります。

インフルエンザは、前兆なく発症し急激に熱が上がるのが特徴の1つですが、予防接種の効果で高熱が出ない場合もあるとのこと。

一般の方のインフルエンザワクチン接種は 10 月 26 日以降となるのですが、厚生労働省によれば、原則として新型コロナワクチンとの同時接種はできず、互いに片方のワクチンを受けてから 2 週間後に接種できるとのこと。

これから新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの両方を接種することをお考えの場合は、このことにも留意し早めの予約をお勧めします。

◇校内長距離走・駅伝競走大会及び群竹祭の中止について

新型コロナウイルス感染症につきましては、文頭で記述したとおり、感染者が大きく減少するなど、改善傾向が続き、明るい兆しが見えてきたように感じます。そして本校の教育活動も、感染症対策の徹底を図りながら、概ね通常の活動が実施できるようになりました。

しかし、来月予定していました校内長距離走・駅伝競走大会及び群竹祭(学校祭)につきましては、練習時間が十分に確保できないことや長く部活動が休止となり生徒の体力面に心配があることなどから、以下のとおりとします。

○校内長距離走・駅伝競走大会(11/24) → 中止

○群竹祭(11/30) → 中止*

※各学級の合唱については、期日を変えて、学年単位の発表会とするなど、発表の方法を検討します。

保護者の皆様にもご理解の程、よろしくお願いいたします。

なお、11 日 1 日(月)に生徒会主催により開催される校内球技大会については、予定どおり実施いたします。